

残り半年

完成に向けて

カウントダウン開始

駅舎付近の囲いが外れ、バス乗降場を覆う緩やかな曲面をもった屋根が姿を現し、少しずつ新しい「えきまえ」の形が見えてきました。
今後、広場完成までの半年間、同時に沢山の工事が行われます。
今回は、「熊本らしい」「水」を感じられる施設である、「水景施設」と「手押しポンプ」について紹介いたします。

“熊本らしい”「水」のシンボル水景施設

Plan

「水と緑の立体庭園」をテーマとする JR 熊本駅ビルと連続する位置に、大小2つの水景施設をつくります。

ひとつは大きな水盤で、中央部の湧水口から湧き出た水が、外周部にあふれ出すような姿とし、“熊本らしい”雄大な地下水を感じられるような施設とします。もうひとつは、小さい噴水を12か所設け、吹き出す水の変化を楽しめる施設とします。

また、これらの施設は眺めて楽しむだけでなく、夏場は子どもたちが、賑やかに遊ぶことができるようにします。

水景施設は東洋・川尻・トータル・熊宮JVが工事を担っており、10月現在、地下埋設物や樹設置工事を行っています。

Photo



水景施設のイメージ

(背景：令和2年(2020年)9月末撮影)



埋設物工事の状況

Plan

熊本は平成28年熊本地震で長期の断水を経験し、水の大切さを実感しました。このような断水時に生活用水としても利用できる手押しポンプを設置します。この手押しポンプの周りには、被災した熊本城の廃瓦を利用した舗装とし、「防災意識」を啓発することができる施設にしたいと考えています。

また、日常的には子どもたちや来訪者が地下水をくみ上げられるようにして、“熊本らしい”豊富な地下水をあらわすモニュメントとしての機能も持たせます。

手押しポンプの工事は双葉工務店が担当し、11月からの施工に向けて、ポンプの製作を行っています。

Photo



手押しポンプのイメージ写真

(※実際は当該ポンプにカバーを取り付けます)

災害時も利用できる手押しポンプ

もっと知りたい・スマホで見たい方はホームページへ！！

